



広報

# よいた

1月 No. 331

(平成6年1月10日)

公報

かくし

1994 No.331  
1月号

## ▶ 今月のページ ◀

新年のごあいさつ 2~3

12月定例議会 4~6

まちの話題 12~13



新しい年を迎えて、町民の皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

今年も「広報よいた」をよろしくお願い申し上げます。

■発行／与板町(代表者 与板町長平澤基九郎) ■電話 (0258) 72-3100 ■編集／与板町広報編集委員会



## 労働基準監督署からのお知らせ

産業別最低賃金が下記のとおり改正されました。

最低賃金の名称	最低賃金額		効力発生年月日
	時間額	日額	
新潟県最低賃金	563円	4,496円	平成5年10月1日
電気機械器具製造業	643円	5,144円	平成5年12月17日
各種商売小売業	610円	4,880円	平成5年12月24日
自動車小売業	640円	5,112円	平成5年12月22日

わが家の  
あいどる

稻垣早咲ちゃん  
(泉丁) 稲垣範篤さんの長女

あけましておめでとうございます。  
まだ歩けないけど、つかまり立ちなら大丈夫です。  
もうすぐ一才の誕生日なので、私が歩くのを、みんなが期待してるから困っちゃう。

でもやつぱり、ハイハイのほうがいいな、どこへだって行けるもん。

私の好きな場所は台所なんだけど、おばあちゃんやお母さんは、私が行こうとするとすぐドアを閉めちゃいます。でも、ときどきドアが開いていることがあるから、そーと入って行くと私の好きなみかんやりんごがいっぱいあって、皮のまま“ガブリ！”そうするとすぐ連れ戻されちゃう。

今は家の中の探検だけど、春になつたら歩いて外を探検します。よろしくね。

▼新年あけましておめでとうございます。

本年も「広報よいた」を昨年以上、よろしくお願ひ申し上げます。

▼十二月定例会・一般質問の内容をお知らせいたします。  
お正月を迎えることができました。町民の皆様にとって、今年もまた雪のない穏やかな一年になります。

お正月を迎えることができました。町民の皆様にとって、今年もまた雪のない穏やかな一年になります。







からとの答弁があつた様に記憶しているが、農村への下水道事業促進を早期にお願いしたい。

②基幹農道の舗装について

今後予想されるカントリーレベーター利用者のため、又は県道・国道をさける道路利用によつて交通事故を防ぐ方法ともなるので、基幹農道の舗装こそ必要と考えるが、町長の考えを伺いたい。

平澤町長

①昭和六十一年度よりスタートした下水道事業であるが、これまでの進捗状況からして、当初計画より遅れている状況ではない。今後、財政状況等を十分考慮しながら、一日も早くご期待にそなうよう農村の環境整備に力を入れて参る考えである。今後も計画的に進めて参りたいと考えている。

佐藤議員

今後、高齢化が進むにつれ、在宅介護が増え、主婦はパートに出られなく、収入減となり、近くで買物をする必要に迫られる。この様に郊外型の大型ス

パーだけでは快適な生活環境にならないと考える。そこで平成三年度に特定商業集積整備法案が設立され、中小企業・小売業に多くの特典を与えていた。当町としても、この整備法を活用する時期であると考えている。又、従来の商店街か江西新商業集積地が適地なか町長の考えを伺いたい。

平澤町長

平成四年度与板町地域商業活性化事業計画(商UP事業)

策定され、新商業集積の創造を

との提言を頂いている。それに向けて、中小の商業者が自ら考え、自ら実施に取り組まれることに對しては、これからも町として

も大いにお手伝いをさせて頂く考え方である。商店街が衰退して

いる理由として、ライフスタイルが、商店街活動は皆がそろつて

つかりくつろげる場所も必要と

と、お年寄が買物をしながら

歩きたい。



ルが変わって、その時代の変化について行く事がなかなか出来ないのが原因と言われている。ご指摘の様に高齢化社会になることを、お年寄が買物をしながらつくりくつろげる場所も必要となつて来るものと考えられる。従来の商店街か江西地区かといふことは大変難しい問題であるが、商店街活動は皆がそろつていかと思う。それぞれ各店の抱える問題があるので、先ずやる気のある方が自分達だけでも行動を起こす事によって、少しずつ仲間が集まつて來るのはないかと思う。佐藤議員の周囲に

もいろいろの動きがある様なので、それらが具体化した時点

で、それらが話し合いをさせて頂きたい。

●コメ開放後の与板町農業の将来像について



ほ場均平・連絡農道等の条件整備を推進するため、国・県では補正予算を計上し、平成五年度に事業を実施した者に対する〇%の補助を行うものとしている。詳細については県の指導を受けて農家組合長さんに連絡申しがれるが、この季節になつてから取り組みにくい事業と感じている。しかし、少しでも農家の皆様の復田希望があるなら、町としてもご協力申し上げたいと考えている。

②意欲的な農業経営を発展させたいこうとする方が、自ら農業経営規模拡大計画認定申請書を提出され認定をいたしてい

るものの、平成五年度中に町の各地域から三〇名(平均年齢十四才)の方が認定農業経営者として認定を受けた。十四才の方が八八%をしめており、その中で高齢者の就農も多い事実であるが、中にはやる気のある若い認定農業者もかなりおられる。将来ある中核的担い手といわれる方々と今後いろいろと会合を持たれ、二十一世紀に向けてのビジョンを模索し、若い者の意見を尊重され、町の農業に反映させて頂きたい。

与板町の農家は、第一種兼業の方が多い認定農業者もかなりおられる。将来ある中核的担い手といわれる方々と今後いろいろと会合を持たれ、二十一世紀に向けてのビジョンを模索し、若い者の意見を尊重され、町の農業に反映させて頂きたい。

平澤町長

①長い期間水稻栽培以外の目的で使用されたか、又、休耕されていた水田に再び水稻の栽培を行なう復田に障害となる畦畔整備・

合計画・実施計画により、平成六年度の農家関係ソフト事業として、お願い申し上げている所である。国の新農政プラン・県のプランを受け、与板町のプラン作りに実際に農業を行なうお正月から、平成五年六月の町総合計画・実施計画により、平成六年度の農家関係ソフト事業として、お願い申し上げている所である。町としても、これら意欲のある方の組織作りを行なうとして認定を受けておられる。

町に提出され認定をいたしてい

るもので、平成五年度中に町の各地域から三〇名(平均年齢十四才)の方が認定農業経営者として認定を受けた。十四才の方が八八%をしめており、その中で高齢者の就農も多い事実であるが、中にはやる気のある若い認定農業者もかなりおられる。将来ある中核的担い手といわれる方々と今後いろいろと会合を持たれ、二十一世紀に向けてのビジョンを模索し、若い者の意見を尊重され、町の農業に反映させて頂きたい。

与板町の農家は、第一種兼業の方が多い認定農業者もかなりおられる。将来ある中核的担い手といわれる方々と今後いろいろと会合を持たれ、二十一世紀に向けてのビジョンを模索し、若い者の意見を尊重され、町の農業に反映させて頂きたい。

平澤町長

①長い期間水稻栽培以外の目的で使用されたか、又、休耕されていた水田に再び水稻の栽培を行なう復田に障害となる畦畔整備・

お正月から、平成五年六月の町総合計画・実施計画により、平成六年度の農家関係ソフト事業として、お願い申し上げている所である。町としても、これら意欲のある方の組織作りを行なうとして認定を受けておられる。

町に提出され認定をいたしてい

るもので、平成五年度中に町の各地域から三〇名(平均年齢十四才)の方が認定農業経営者として認定を受けた。十四才の方が八八%をしめており、その中で高齢者の就農も多い事実であるが、中にはやる気のある若い認定農業者もかなりおられる。将来ある中核的担い手といわれる方々と今後いろいろと会合を持たれ、二十一世紀に向けてのビジョンを模索し、若い者の意見を尊重され、町の農業に反映させて頂きたい。

与板町の農家は、第一種兼業の方が多い認定農業者もかなりおられる。将来ある中核的担い手といわれる方々と今後いろいろと会合を持たれ、二十一世紀に向けてのビジョンを模索し、若い者の意見を尊重され、町の農業に反映させて頂きたい。

平澤町長



# ・虎斑と与板

No.8

遠く故園の地を離る。

早春の夜ふけ、孤月の姿に彼女を思い詩に託して送る。

詩

文芸欄

## \*天寒自愛

今は昔「天寒し自愛せよ」の書簡に思いをはせた良寛と、それを江戸で受取った維馨尼との交流は美しい。昭和五十八年十月九日、与板町旧大坂屋別荘にこの良寛碑が建てられた。

大坂屋は越後の豪商。文化文政年代の長者番付表一越後国持丸鑑一には、勧進元差添人として大坂屋権平の名がある。良寛と親交の深い、この大坂屋六代長高の娘が「おきし」で、この女性が維馨尼である。

与板八幡宮に良寛の詩碑がある。左一を見て、覚めてから作った詩が刻まれてある。左一を夢に見て、覚めてか

ら作った詩が刻まれてある。

二十余年ひとたび君に逢う

微風曠月野橋の東

行く行く手を携えてとも

行きて与板の八幡宮に至る

先立つた左一への思いは深い。

この左一の姪が維馨尼（維経尼ともいう）で、与板・徳昌寺二十六世虎斑和尚の法弟であつた。



## わたくしたちの趣味



\*第11回上野の森美術館大賞展（賞候補）\*

## 鳥からの近況

（与板美術クラブ）

長谷川音松《下丁》



（農協婦人部）

長谷川フミ  
《岩方》

（農協婦人部）

蘿沢イミ  
《倉谷》

## 短歌

立冬の澄みたる空にアドバルン信濃川テクノフェアかすかによめる 大野乃里凜として山にこだます出初式 卧牛子櫛通り真向う風の年明ける 一輪子新年の干支の色紙を替えにけり 小波放水の虹を画がきし出初晴 茂新玉に期するを恥して老さびる のぶ志

十六夜の透くまで淡き暁の月冬の櫛の梢にかかる

丸山チヨ

## 俳句

初雀らしき顔して並びをり 藤田万緑

テクノフェアかすかによめる 大野乃里

櫛通り真向う風の年明ける 一輪子

新年の干支の色紙を替えにけり 小波

放水の虹を画がきし出初晴 茂

新玉に期するを恥して老さびる のぶ志

十六夜の透くまで淡き暁の月冬の櫛の

梢にかかる

丸山チヨ

るを知った。聞けば九千五十六卷、紙質よく、刺繡を施した厚紙包み三百十三にまとめてある珍品と言う。値は大枚の二百二十両と聞く。喉から手が出る虎班であったが、高価なのは頭をかかる。そこで、あの手この手をつかい、托鉢、勧進となり、悪戦苦闘となつた。金五十両が、なんとかんとかして集まる、彼は居ても立つてもいられず、これを内金として伊勢松阪を目指し旅立つ。文政元年初冬十月二十七日であつた。ここに、もう一つの旅があつた。虎班の手元不如意を、いたい程知っていた維馨尼は、私も資金調達の一助にもと、江戸に旅立つた。良寛は、これを知り心痛める。江戸での足を棒にしての金集め、旅のつらさ、それに寒い季節、江戸に遠離故園地吁嗟吾何道の書簡となる。江戸に而維経尼君欲求藏經

書店に明版の大藏経の完本のあ

君は藏經を求めるんと欲し

た。

虎斑和尚は、かねがね大藏経

を香積山徳昌寺に請ぜんとの志

があつた。たまたま伊勢松阪の

書店に明版の大藏経の完本のあ

た。

虎斑和尚は、かねがね大藏経

を香積山徳昌寺に請ぜんとの志

